

第29回 日本脳神経外科コンgres総会 ランチョンセミナー 3-1



脳神経外科手術適応の評価

座 長

群馬大学大学院医学系研究科 脳神経外科学 **好本 裕平**先生

演 題・演 者

SPECTを用いた手術適応および予後の評価

北海道大学医学研究科 神経外科 **黒田 敏**先生

日時 平成21年 **5月17日** 日 11:40~12:40

会場 大阪国際会議場 12F 特別会議場 (第1会場)
〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号



共 催:第29回日本脳神経外科コンgres総会
日本脳神経核医学研究会
富士フイルムRIファーマ株式会社

SPECTを用いた手術適応および予後の評価

黒田 敏 先生 北海道大学医学研究科 神経外科

長年の研究により、脳SPECTを用いることで、閉塞性頸動脈疾患の脳循環動態を的確に把握して、手術適応、長期予後を予測することが可能であることが明らかとなりつつある。その骨子は安静時およびacetazolamide負荷時の脳血流量の定量的測定であり、数多くの研究者たちの積み重ねが、国内ではJETStudyという多施設共同研究として大きな成果をあげるに到っている。ただし、脳SPECTの運用や結果の判定に関しては、いくつかの注意すべき点があるのも事実である。また、近年の研究により、脳SPECTから得られる知見が脳血行不全を完全無欠に検出できるわけではないことも明らかとなりつつあり、今後も検討を積み重ねるべき余地が大きい研究分野である。

本セミナーでは、脳SPECTを中心に、脳血行不全を的確に検出して手術適応、予後評価をより正確に決定するための基礎知識と実践について概説したい。

